

## 神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	総合芸術コース 音楽文化専攻	学年	3年
講義日	令和8年 5月29日(金)・6月26日(金)・7月24日(金)		
テーマ	音楽の様式と形式(宗教と音楽、交響曲の世界、オペラとドラマ)		
講師	兵庫県立大学講師 音楽評論家 横原 千史		
<p>講義内容</p> <p>音楽の様々なジャンルの様式と形式について、そのジャンルの最高傑作を例にとり、その作品を視聴しながら説明します。作品の構造を理解しながら、作曲家が心血を注いで作り上げた傑作の秘密と魅力に迫ります。</p> <p>第1回:宗教と音楽                  バッハ《マタイ受難曲》とヴェルディ《レクイエム》                  西洋芸術音楽は、長い歴史の上でキリスト教と密接に関わってきました。バロック時代のプロテスタント宗教オラトリオとロマン派時代のカトリックの死者のためのミサ曲で、その形式と様式をお話します。</p> <p>第2回:交響曲の世界                  ベートーヴェン交響曲第5番《運命》とマーラー交響曲第2番《復活》                  《運命》では、古典交響曲のソナタ形式、変奏形式、循環形式について学びます。《復活》では、後期ロマン派交響曲の循環主題による構成と管弦楽法について学習します。</p> <p>第3回:オペラとドラマ                  ワーグナー《ワルキューレ》とプッチーニ《トスカ》                  ドイツオペラを代表するワーグナーの代表作で、独特のドマトゥルギーとライトモチーフの技法について、イタリアオペラで人気の高いプッチーニの傑作で、ベルカント旋律法とドラマの構成法、豊かな管弦楽法についてお話します。</p>			
<p>講師からのメッセージ</p> <p>様々なジャンルの音楽の様式と形式を把握し、作品構造を理解するのが目標です。そのうえで音楽史上、比類ない高みに登りつめた不朽の傑作を存分に味わい、楽しんでいただきたいと思います。</p>			